

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 27 年 6 月 23 日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2014

課題番号：23520061

研究課題名(和文)近代日中間の書籍交流の研究 商業活動を中心として

研究課題名(英文)A study on the exchange of books between Japan and China in the modern period, with special attention to business activities

研究代表者

陳捷(CHEN, Jie)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：40318580

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,000,000円

研究成果の概要(和文)：

本研究においては、明治前期に日中両国間を往来した人々が交わした筆談の資料や、旅行記、書店の販売目録などの基本史料を系統的に調査のうえ、整理・分析を行ない、当時における日中間の書籍商のネットワークを探り、この時期の日中間の書籍流通ルートと人間同士の交流の実態について考察してきた。本研究は近代日中文化交流史上において重要な意義を有すると同時に、国境を越えた新しい文化と知識の生成の過程を理解するにも重要な意義を持っている。

研究成果の概要(英文)：In this study the author has first investigated the network linking booksellers in Japan and China in the first half of the Meiji era, by systematically examining, sorting out, and analyzing the basic materials such as notes used for communication in writing by the people who were coming and going between these two countries, travel reports, and booksellers' catalogues. Through these, the author has considered the path of distribution of books between the two countries and the actual situation of the interaction among the people involved. This study is significant for the examination of the interaction between Japan and China in the modern period, and also contributes to understanding the development process of new culture and knowledge across the borders.

研究分野：中国思想

キーワード：書籍交流 日中文化交流 近代出版 書籍商の活動

## 1. 研究開始当初の背景

幕末明治前期において、中国から舶来された漢訳洋書を始めとする中国の書籍は日本近代の新しい文化形成に大きな役割を果たした。一方、明治以後、廃藩置県、廃仏毀釈などに起因する社会変動のなかにおいて流出した旧藩主・古寺院などに所蔵されていた貴重書や、文明開化の風潮の中で不用となった古典籍は中国に逆輸入され、中国近代の古典研究に大きな影響を与えた。また、明治時代に翻訳、編纂された、さまざまな西洋に関する知識を紹介する書籍が中国に伝わり、多くの中国人によって読まれ、近代中国の新しい知識の生成に大いに貢献することとなった。このような夥しい数の書籍の移動は、個人による精力的な収集により実現した例も多くみられるが、数量や規模から考えるならば、両国の書籍商が商業活動の一環として輸出入したケースがもっとも多かったといえるだろう。しかしながら、このように重要な文化現象でありながら、先行研究はほとんどなかったため、本研究を志した次第である。

## 2. 研究の目的

本研究においては、幕末から昭和初期の日中間の書籍交流を対象とし、中国各地において活動していた日本書籍を販売する中国の書籍商と、日本で活躍していた唐本を販売する日本書籍商に関する記録、回想録、書籍販売目録と新聞・雑誌の広告、図書購入記録などを手がかりとして、日中間の書籍商のネットワークを探り、書物流通のルートを解明し、それによって、当時の日中間の書籍往来に関する商業活動の実態と役割とを明らかにしていきたい。具体的には、日中両国の新聞・雑誌、出版販売目録、関係者の日記・書翰を中心に調査を行い、新たな資料および史実を発見し、両国間の文化的、学術的、商業的な交流に関する基本的な事実を辿り、これらの史実と当時の日中両国の社会的、文化的な背景との関係について分析し、さらに、東アジアの国際化を背景とした新たな知識の生成過程との関わりも明らかにしていきたい。

## 3. 研究の方法

両国の書籍商が残した多くの記録、販売目録、広告などの資料を中心として調査、研究を行い、今日までその重要性が十分認識されてこなかった文献を新たな角度から再評価し、さらに、両国の古書肆業界に関する未発表の資料を大いに活用する。また、書誌学的手法によって原資料を調査・整理し、実証的な方法によ

って近代日中文化交流の具体像を明らかにする。

## 4. 研究成果

国内外の図書館・資料館などにおける調査と資料収集を行い、データを整理する同時に、重要な書籍商に関する個別研究を行った。国内では、東京、大阪、京都の関係図書館の他、九州大学図書館、琉球大学付属図書館などで調査を行った。中国では、北京、上海の各図書館・档案馆で調査を行った。これらの調査研究と今までの研究蓄積をもとに、単著『人物往来と書籍流転』(中国・中華書局、2012.4)、「Travels to Japan by Chinese Painters in the 1870s and 1880s」(Chen Jie, translated by Joshua A. Fogel, Joshua A. Fogel 編, The Role of Japan in Modern Chinese Art (New Perspectives on Chinese Culture and Society), pp.13-41, Berkeley, Calif.: Global, Area, and International Archive, University of California Press, 2013.1)、『四明叢書』の编者・張寿鏞の文献収集』(早坂俊廣編・小島毅監修『文化都市 寧波』、『東アジア海域に漕ぎだす』叢書 2、東京大学出版会、2013.02)、『夢梅華館日記』翻刻(第二十三~二十五巻)、『調査研究報告』第33号, pp.171-218、国文学研究資料館、2013.3)、『1862年上海日記』(陶振孝・閻瑜・陳捷訳、名倉信敦『海外日録』、『中国聞見記』を担当、中国・中華書局、2012.8)などの論考、資料整理の成果を発表した。また、日中両国間の書籍交流における商業活動の実態と書物流通ルートについて研究し、このような書物流通の環境が当時の両国の知識人、書物のコレクターなどに与えた影響を考察した。さらに、当時の日中両国の社会的、文化的な背景との関係を考慮しながら、このような商業活動と東アジアの国際化を背景とした新たな文化環境の形成および新知識の生成過程との関わりも明らかにし、学会発表や論文の形で研究成果を発表してきた。新出資料の翻刻として、『夢梅華館日記』翻刻(第二十三~二十五巻)、『調査研究報告』第33号, pp.171-218、国文学研究資料館、2013.3)、『夢梅華館日記』翻刻(第二十六~二十七巻)、『調査研究報告』第34号(『調査研究報告』第34号, 国文学研究資料館、2014.3)、『夢梅華館日記』翻刻(第二十八~二十九巻)、『調査研究報告』(国文学研究資料館)第35号, pp.117(1)-48(45)、2015.3.)を発表し、日中両国の書物往来に興味深い例証として、『毛詩品物図考』の内容と出版・流通状況を研究し、『毛詩品物図考』より見た18世紀にお

ける新しい「知」の形成」(川原秀城編『西学東漸と東アジア』、pp.291-306 岩波書店、2015.2)と題する論文を発表した。なお、日中両国のみではなく、その比較対照として、日韓・日蘭の書籍交流史にも関心を持つようになり、共編の論文集『日韓の書誌学と古典籍』(勉誠出版、2015.5)を出版し、論文「シーボルトコレクションの和刻本漢籍について」(『シーボルト日本書籍コレクション 現存書目録と研究』、人間文化研究機構 国文学研究資料館 編 pp.580-601、勉誠出版、2014.12)と「韓国国立中央図書館所蔵琉球『選日通書』について」(大高洋司・陳捷編、勉誠出版、2015.5)を発表した。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 9 件)

陳捷「韓国国立中央図書館所蔵琉球『選日通書』について」(大高洋司・陳捷編、アジア遊学」特集『日韓の書誌学と古典籍』、pp.93-104、勉誠出版、査読無、2015.5)

陳捷「『夢梅華館日記』翻刻(第二十八~二十九巻)」(『調査研究報告』(国文学研究資料館)第35号、査読無、pp.117(1)-48(45)、2015.3)

陳捷「『毛詩品物図考』より見た 18世紀における新しい「知」の形成」(川原秀城編『西学東漸と東アジア』、pp.291-306、岩波書店、査読無、2015.2)

陳捷「シーボルトコレクションの和刻本漢籍について」(『シーボルト日本書籍コレクション 現存書目録と研究』、人間文化研究機構 国文学研究資料館 編 pp.580-601、勉誠出版、査読無、2014.12)

陳捷「『夢梅華館日記』翻刻(第二十六~二十七巻)」(『調査研究報告』第34号(『調査研究報告』第34号、国文学研究資料館、査読無、2014.3)

陳捷「『夢梅華館日記』翻刻(第二十三~二十五巻)」(『調査研究報告』第33号、pp.171-218、国文学研究資料館、査読無、2013.3)

陳捷「『四明叢書』の編者・張寿鏞の文献収集」(早坂俊廣編・小島毅監修『文化都市 寧波』、『東アジア海域に漕ぎだす』叢書 2、東京大学出版会、査読無、

2013.02)

Chen Jie, translated by Joshua A. Fogel, 「Travels to Japan by Chinese Painters in the 1870s and 1880s」(Joshua A. Fogel 編, The Role of Japan in Modern Chinese Art (New Perspectives on Chinese Culture and Society), pp.13-41, Berkeley, Calif.: Global, Area, and International Archive, University of California Press, 査読無, 2013.1)

陶振孝・閻瑜・陳捷(訳)『1862年上海日記』(名倉信敦『海外日録』・『中国閩見記』を担当、中国・中華書局、査読無、2012.8)

〔学会発表〕(計 3 件)

陳捷「從《毛詩品物圖考》看十八世紀的知識形成」、2014/12/5~6日、台湾中央研究院文哲研究所で開催された「創新與創造：明清知識建構與文化交流」國際學術研討會(Innovation and Creativity: An International Conference on the Construction of Knowledge and Cultural Exchanges in Ming-Qing Times)

陳捷「京都における羅振玉の日本所蔵漢籍の出版事業について」、京都府立総合資料館・京都府立大学主催総合資料館開館50周年記念国際京都学シンポジウム「近代京都の学と美の新生 - 明治・大正期の日中文化交流の中から - 」、2014・1・11、京都市国際交流会館イベントホール

陳捷「明治期における日中間の古典籍の移動について」、国文研フォーラム、国文学研究資料館、2011.5.18

〔図書〕(計 1 件)

陳捷『人物往来与書籍流転』、中国・中華書局、2012.4、総頁511

6 . 研究組織

(1)研究代表者

陳 捷 (CHEN, Jie)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号 : 40318580

(2)研究分担者

なし

(3)連携研究者

なし